



## 2015年度第3四半期 決算説明会資料

財務責任者  
見浪 直博

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、財務諸表の数値と異なる場合があります。  
※各指標の注記は、slide26をご覧ください。

### 将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等

## 飲料事業の実績及び見込は「非継続事業からの当期利益」で表示

### ■ 2015年第3四半期から飲料事業は非継続事業として取扱い

- 損益計算書：継続事業・非継続事業に区分して表示（財務報告ベース、LFLベース）  
比較情報（前年実績）も遡及して同様の取扱・表示
- 損益計算書以外の財務諸表：継続事業・非継続事業の区分は原則行わず合算値を表示
- 見込も同様の対応

### ■ 決算期変更にかかる財務報告ベース、Like-for-Likeベースでの開示は従来通り

- 但し、財務報告ベースの比較情報としての前年実績は、2014年通期の実績を記載
  - ・ 変則期である2014年は、第3四半期に相当する要約四半期連結財務諸表を作成していないため

損益計算書の表示	財務報告ベース	L-f-Lベース
飲料事業の取扱い	財務報告ベース、L-f-Lベースともに、非継続事業として取扱い 前年同一期間の実績も同様に組み替えて表示	
2015年第3四半期（累計）の 対象期間	国内事業：1-9月 海外事業：1-9月	国内事業：1-9月 海外事業：1-9月
比較情報（前年実績）の 対象期間	国内事業：4-12月 海外事業：1-12月	国内事業：1-9月 海外事業：1-9月

© Copyright JT 2015

3

全社実績

財務報告ベース

## 財務報告ベース全社実績

\*2014年度の比較情報は、国内事業：4-12月実績、海外事業：1-12月実績

(億円)

	2014年度	2015年度 第3四半期
売上収益	20,197	16,885
調整後営業利益 <sup>1</sup>	5,887	5,103
営業利益	4,999	4,559
継続事業からの四半期利益 <sup>2</sup>	3,645	3,171
非継続事業からの四半期利益 <sup>2</sup>	-16	873
四半期利益 <sup>2</sup>	3,629	4,044

\*売上収益、調整後営業利益、営業利益は、継続事業ベースの実績です。

© Copyright JT 2015

4

## 全社実績 L-f-L ベース (2015年1-9月実績)

5

全社実績

L-f-L ベース

### 好調な成長モメンタムの継続を確認

(億円,%)

	2014年1-9月	2015年1-9月	増減率
売上収益	16,770	16,885	0.7%
調整後営業利益 <sup>1</sup>	5,239	5,103	-2.6%
調整後営業利益 <sup>1</sup> (為替一定ベース)	5,239	5,849	11.6%
営業利益	4,911	4,559	-7.2%
継続事業からの四半期利益 <sup>2</sup>	3,344	3,171	-5.2%
非継続事業からの四半期利益 <sup>2</sup>	-15	873	-
四半期利益 <sup>2</sup>	3,330	4,044	21.5%

\*売上収益、調整後営業利益、営業利益は、継続事業ベースの実績です。

## 事業別実績 L-f-L ベース(2015年1-9月実績)

海外たばこ事業実績

L-f-L ベース

### GFB 及びプライシングにより堅調な実績

(億本,百万US\$,%)

	2014年1-9月	2015年1-9月	増減率
総販売数量 <sup>3</sup>	2,966	2,956	-0.4%
GFB販売数量	1,943	2,054	5.7%
<b>為替一定ベース</b>			
自社たばこ製品売上収益 <sup>4</sup>	9,101	9,764	7.3%
調整後営業利益 <sup>1</sup>	3,454	3,915	13.3%
<b>報告ベース</b>			
自社たばこ製品売上収益 <sup>4</sup>	9,101	7,823	-14.0%
調整後営業利益 <sup>1</sup>	3,454	2,715	-21.4%
<b>円ベース (億円)</b>			
自社たばこ製品売上収益 <sup>4</sup>	9,369	9,469	1.1%
調整後営業利益 <sup>1</sup>	3,557	3,285	-7.7%

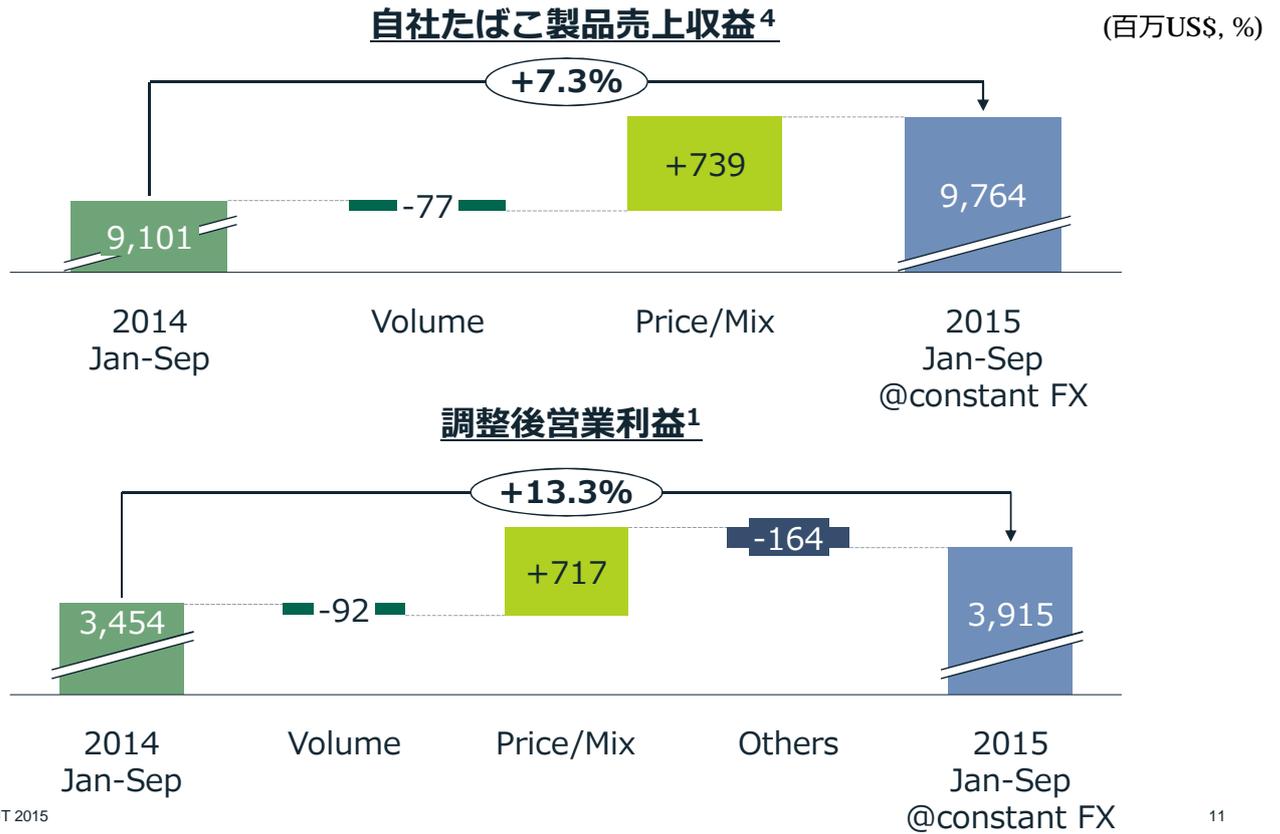
## クラスター別実績

	増減率			
	(%)			
	2015年 1-3月	2015年 4-6月	2015年 7-9月	2015年 1-9月
<b>South &amp; West Europe</b>				
総販売数量 <sup>3</sup>	8.2%	5.0%	4.4%	5.8%
GFB販売数量	12.3%	8.0%	6.4%	8.7%
自社たばこ製品売上収益 <sup>4</sup> (為替一定ベース)	12.8%	7.3%	6.1%	8.5%
<b>North &amp; Central Europe</b>				
総販売数量 <sup>3</sup>	2.1%	2.0%	3.8%	2.7%
GFB販売数量	5.9%	7.8%	12.8%	9.0%
自社たばこ製品売上収益 <sup>4</sup> (為替一定ベース)	11.0%	7.4%	10.4%	9.6%

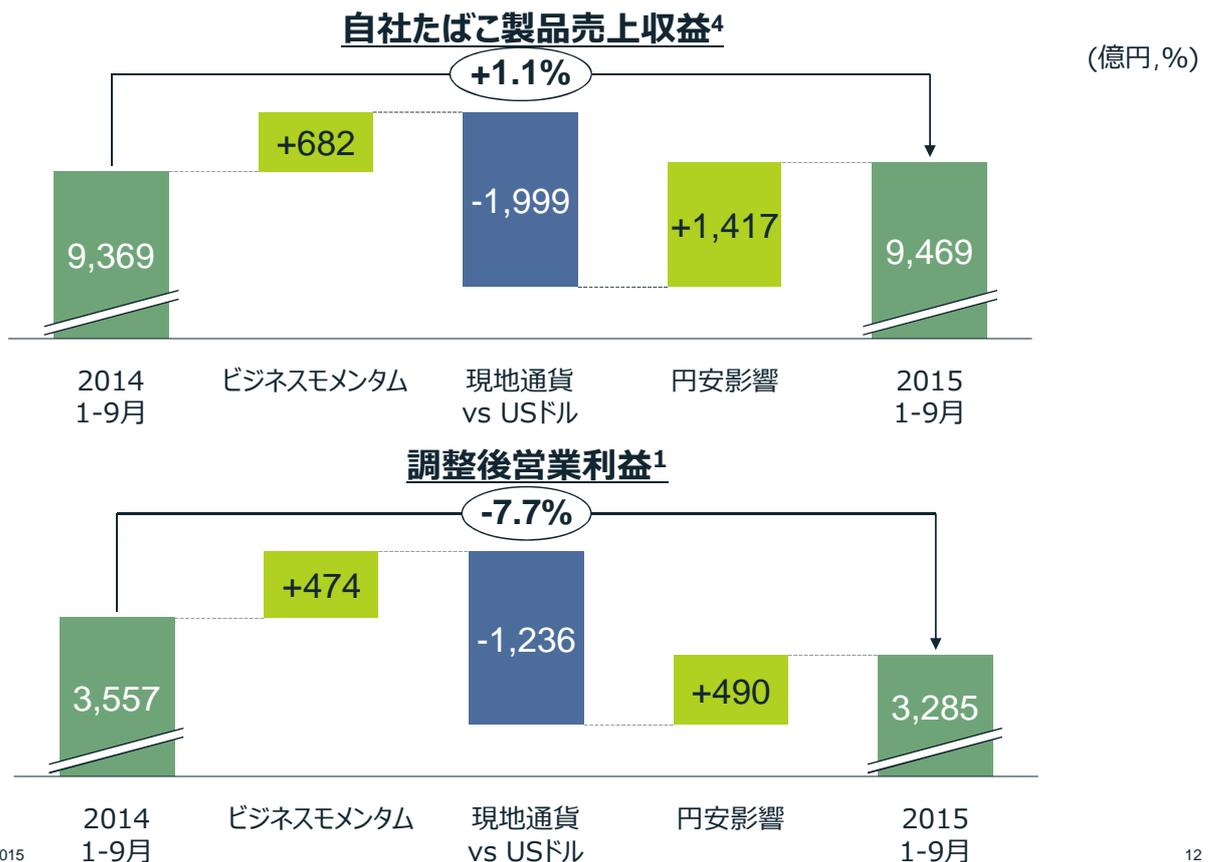
## クラスター別実績

	増減率			
	(%)			
	2015年 1-3月	2015年 4-6月	2015年 7-9月	2015年 1-9月
<b>CIS+</b>				
総販売数量 <sup>3</sup>	-13.5%	-2.3%	-5.9%	-6.9%
GFB販売数量	-5.3%	2.4%	-0.1%	-0.7%
自社たばこ製品売上収益 <sup>4</sup> (為替一定ベース)	-4.2%	12.3%	11.0%	6.8%
<b>Rest-of-the-World</b>				
総販売数量 <sup>3</sup>	15.4%	0.3%	-0.9%	4.2%
GFB販売数量	32.6%	11.2%	1.6%	13.0%
自社たばこ製品売上収益 <sup>4</sup> (為替一定ベース)	12.4%	0.1%	4.8%	5.4%

# 引き続きプライシングがトップライン/利益成長を牽引

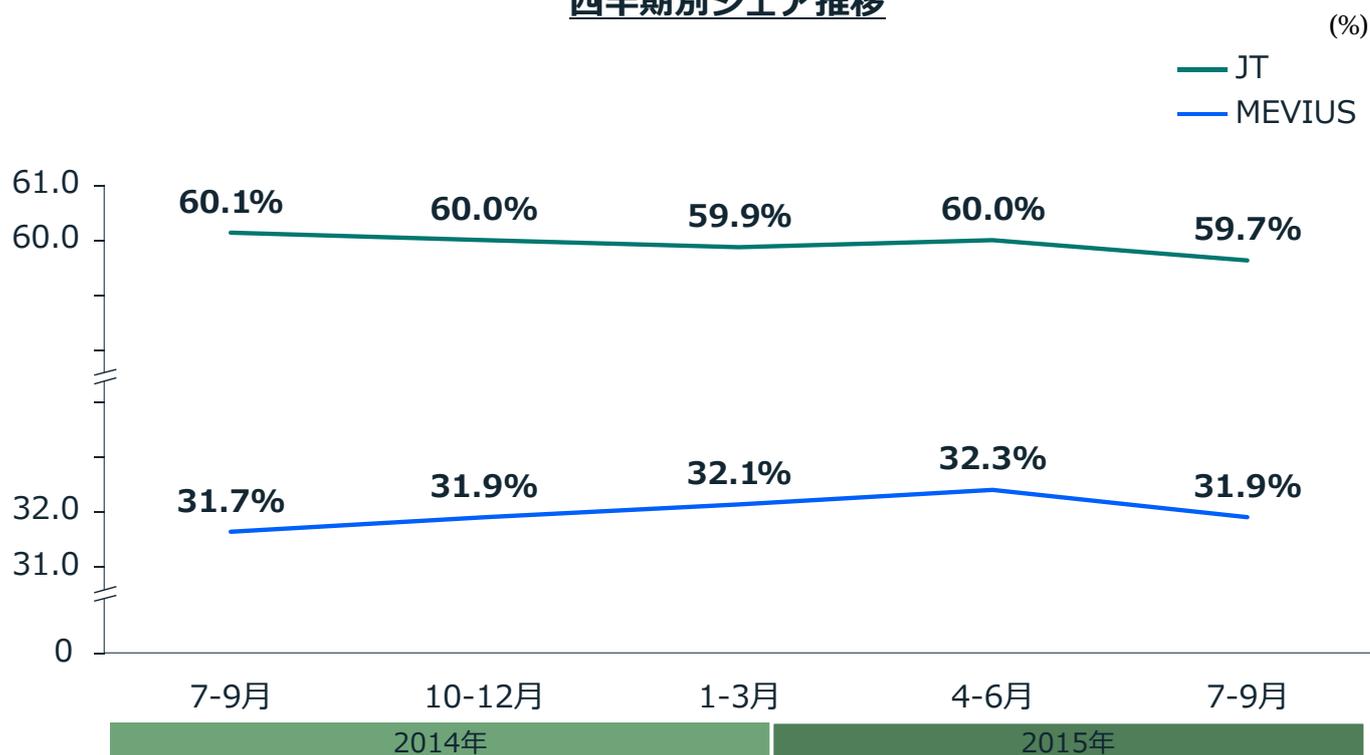


# 為替影響について



## 競争が激化する中、堅調なシェア実績

四半期別シェア推移

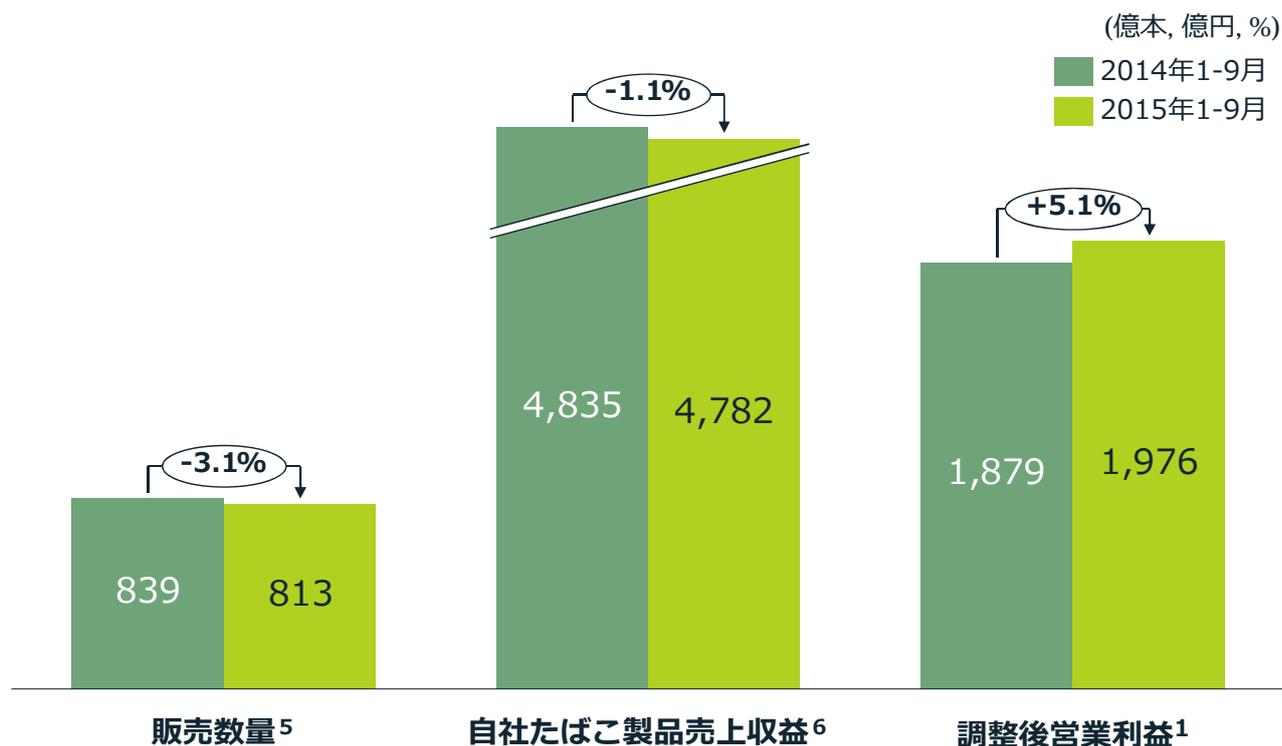


© Copyright JT 2015

13

## 単価上昇効果及び競争力強化施策効果により着実な利益成長

主要指標



© Copyright JT 2015

14

## 医薬・加工食品事業ともに好調なトップラインを維持

(億円)

	2014年 1-9月	2015年 1-9月	増減額
<b>医薬事業</b>			
売上収益	467	534	67
調整後営業利益 <sup>1</sup>	-68	-33	35
<b>加工食品事業</b>			
売上収益	1,162	1,205	43
調整後営業利益 <sup>1</sup>	-1	13	14

\*飲料事業は、15年9月末にJT飲料製品の製造販売事業から撤退しております。

\*また、15年7月末に自販機オペレーター事業子会社の株式譲渡及びJTブランドの譲渡を完了しております。従って、当四半期より飲料事業の実績・見込は「非継続事業からの当期利益」として表示されます。



## 2015年度修正見込

## 力強いビジネスモメンタムを反映し、為替一定ベースの利益を上方修正

(億円、%)

	前回見込	今回見込	対前回見込 増減額	対前年 増減率
調整後営業利益 <sup>1</sup> (為替一定ベース)	7,070	7,180	110	8.6%
売上収益	22,600	22,500	-100	-0.4%
調整後営業利益 <sup>1</sup>	6,140	6,180	40	-6.5%
営業利益	5,540	5,540	-	-3.3%
継続事業からの当期利益 <sup>2</sup>	3,870	3,870	-	-1.1%
非継続事業からの当期利益 <sup>2</sup>	840	870	30	-
当期利益 <sup>2</sup>	4,710	4,740	30	21.8%

\*売上収益、調整後営業利益、営業利益は、継続事業ベースの見込です。

\*前回見込につきましても継続事業ベースに見直しております。

© Copyright JT 2015

17

### 海外たばこ事業見込

## 好調なトップラインにより二桁成長の達成に自信

(億本,百万US\$,%)

	前回見込	今回見込	対前回見込 増減	対前年増減率
総販売数量 <sup>3</sup>	3,920	3,920	-	-1.5%
GFB販売数量	2,670	2,700	30	3.0%
<b>為替一定ベース</b>				
自社たばこ製品売上収益 <sup>4</sup>	12,500	12,700	200	6.6%
調整後営業利益 <sup>1</sup>	4,595	4,680	85	10.0%
<b>報告ベース</b>				
自社たばこ製品売上収益 <sup>4</sup>	10,400	10,400	-	-12.7%
調整後営業利益 <sup>1</sup>	3,230	3,230	-	-24.1%
<b>円ベース (億円)</b>				
自社たばこ製品売上収益 <sup>4</sup>	12,610	12,540	-70	-0.3%
調整後営業利益 <sup>1</sup>	3,900	3,900	-	-12.8%

© Copyright JT 2015

18

## 足元の販売状況を踏まえ、トップライン/利益を上方修正

(億円, %)

	前回見込	今回見込	対前回見込 増減額	対前年増減率
販売数量 <sup>5</sup>	1,090	1,090	-	-3.0%
自社たばこ製品売上収益 <sup>6</sup>	6,380	6,400	20	-1.5%
調整後営業利益 <sup>1</sup>	2,500	2,530	30	6.0%

## 医薬は利益上方修正、加工食品は着実な見込達成を目指す

(億円)

	前回見込	今回見込	対前回見込 増減額
<b>医薬事業</b>			
売上収益	750	750	-
調整後営業利益 <sup>1</sup>	-45	-30	15
<b>加工食品事業</b>			
売上収益	1,680	1,680	-
調整後営業利益 <sup>1</sup>	25	25	-

\*飲料事業は、15年9月末にJT飲料製品の製造販売事業から撤退しております。

\*また、15年7月末に自販機オペレーター事業子会社の株式譲渡及びJTブランドの譲渡を完了しております。従って、当四半期より飲料事業の実績・見込は「非継続事業からの当期利益」として表示されます。

## Closing

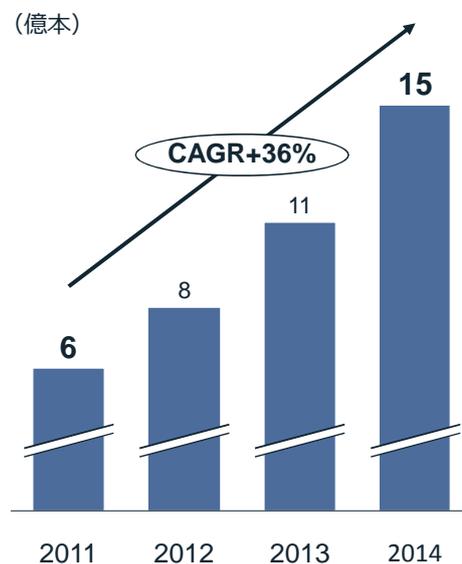
### Natural American Spirit 米国外事業の取得

## 中長期的にトップライン成長を補完するM&A

### 戦略的意義

- ブランドポートフォリオの拡充
  - 高価格帯で独自の世界観を有するブランド
  - 日本において、過去数年他に例を見ないスピードで成長
- 卓越した人財、ノウハウの獲得
- 日本市場における絶好のトップライン成長機会
  - 規格外の数量成長モメンタム
  - 将来的には日本を代表するブランドの一つになるだけのポテンシャル
- 海外市場においても中長期的にトップライン成長を補完

### 日本市場における販売数量推移



## Natural American Spirit ～利益成長への期待～

日本市場における成長のみで十分に採算性のある案件

前提：取得金額5,000MMUSD（約6,000億円）、ハードルレート5%程度、税効果 1,300億円

- 5年後に、単年でハードルレートを上回るフリー・キャッシュ・フロー300億円に相当する約200億円\*以上の営業利益を実現
  - 30-40億本の販売数量を実現する力のあるブランド（JTとの協業による数量増含まず）
  - 5.5円~6.0円/本の限界利益を実現可能
  - JT販促費と併せ、再アロケーションを行うこと等で全体として二桁億円台後半の販促費削減
    - ✓ Natural American Spiritの販促投資は強化の方向
  - 上記以外にも、利益成長機会が存在
    - ✓ 日本市場におけるJTとの協業による数量成長加速
    - ✓ 海外市場における成長
- 6年目以降も利益成長を継続可能

© Copyright JT 2015

\* 税効果を加味した、ハードルレートを上回るために必要なフリーキャッシュフロー300億円の創出に必要な営業利益

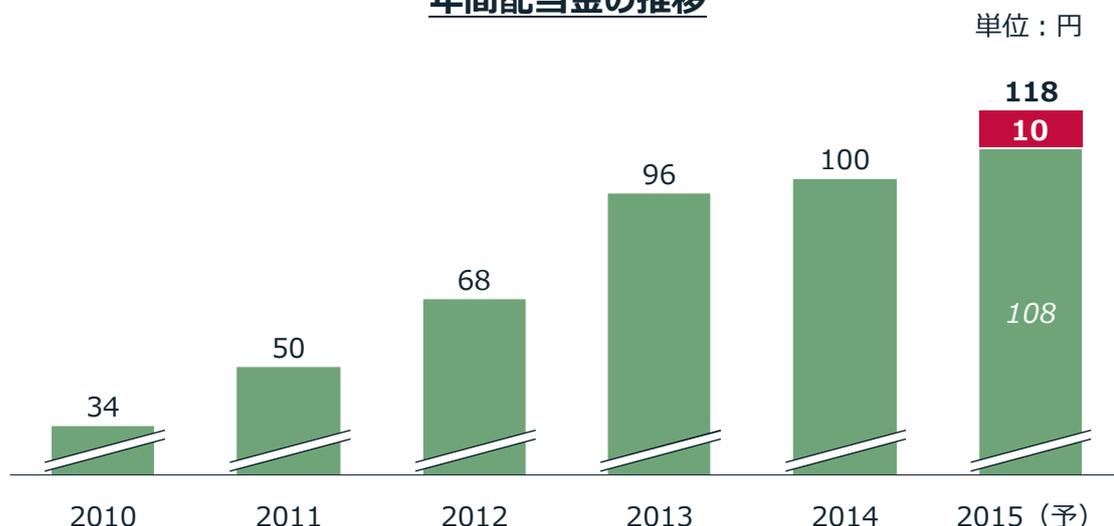
23

### 株主還元

## 期末配当金を10円増配

- 2015年度年間配当金予想：118円（前回予想：108円）
- 配当金については、今後とも安定的・継続的に向上させる方針

### 年間配当金の推移

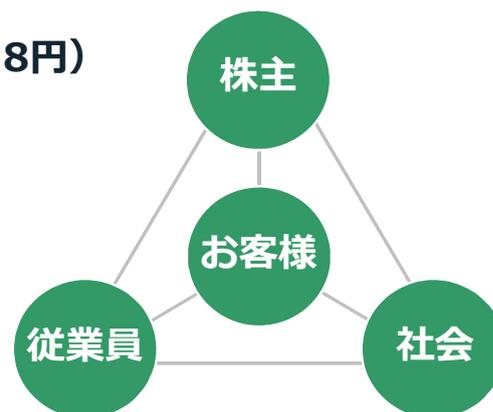


© Copyright JT 2015

24

## 事業投資を積極的に実施しつつも、高い利益成長達成に自信

- 好調な事業パフォーマンスによる着実な利益成長を確認
- Mid to high single digitの利益成長達成\*に自信
- 海外たばこ事業は将来の利益成長を支える投資を継続
- 年間配当金予想を10円引き上げ（108円→118円）



\* 2015年度全社為替一定調整後営業利益

## <注記>

- 1 調整後営業利益： 調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）\*  
\*調整項目（収益及び費用）= のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
- 2 四半期利益/当期利益： 親会社の所有者に帰属する四半期利益/当期利益
- 3 総販売数量： 水たばこ/Emerging Products/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus込み  
(海外たばこ事業)
- 4 自社たばこ製品売上収益： 物流事業、製造受託等を除き、水たばこ、Emerging Productsの売上込み  
(海外たばこ事業)
- 5 販売数量： 国内免税販売及び中国事業部分を含まない  
(国内たばこ事業)
- 6 自社たばこ製品売上収益： 輸入たばこ配送手数料収益等を控除  
(国内たばこ事業)